2030年未来への提案

～伊賀ビジョン～

上野商工会議所

伊賀ビジョン策定の背景

現在、文化や経済のグローバル化が進むなか、少子高齢化や、都市部と地方との地域格差が広がり、経済情勢は依然として厳しい状況に置かれています。
また、インターネットの普及で新しいつながりが生まれる一方、都市・地方を問わず近所づきあいが疎遠になっています。また、東日本大震災以後、ライフスタイル・意識の転換により、地域の絆や良さを見つけて伸ばそうという動きもみられ、地域環境も大きく変化しています。
こうしたなか、伊賀地域においてもさまざまな問題や課題に直面しており、商工会議所に対するニーズも多種多様なものになり、新たな役割も必要となってきています。

伊賀市の現状と課題

人口関連

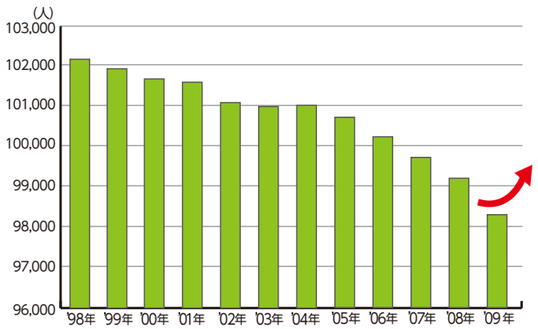
現状

1998年をピークに、継続して人口が減少しています。

課題

子育てしやすい環境や、住み続けやすい環境づくりなど、人口減少社会に対応した地域づくりが求められています。また、活気あるまちを創出して、伊賀市を訪れる交流人口を増加させることも必要とされています。

伊賀市の人口の推移



産業関連

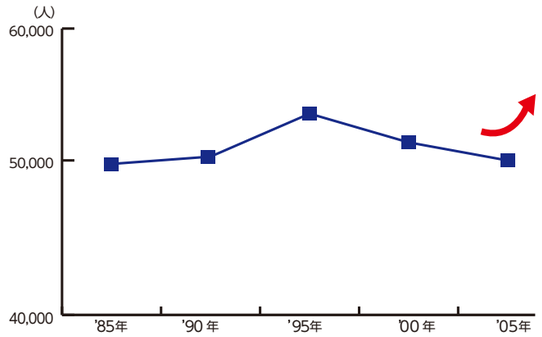
現状

地域全体の産業が停滞傾向にあり、雇用の減少が見られます。

課題

多様な産業を活発にすることで、雇用の拡大と労働条件の向上を図り、だれもが年齢、障がいの有無、地域の違いに関わらず、意欲と能力を発揮し、安心して雇用・社会活動に参加できる活力あふれた「高質な労働市場」を構築する必要があります。

伊賀市の就業人口数



くらし関連

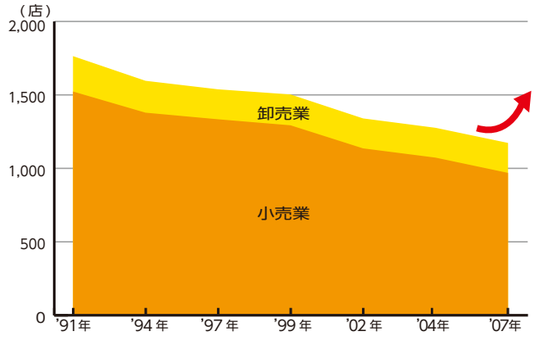
現状

大型店舗等の郊外立地が進み、中心市街地の空洞化が進行しています。

課題

住み慣れた土地で安心して暮らしていくための地域コミュニティ機能の維持や、医療・福祉・買い物など、まちなか居住を支えるまちの仕組みづくり、また、生活者のニーズに応える新たなサービス産業や、活性化をリードしていく人材の創出・育成が必要とされています。

卸・小売業商店数の推移



観光関連

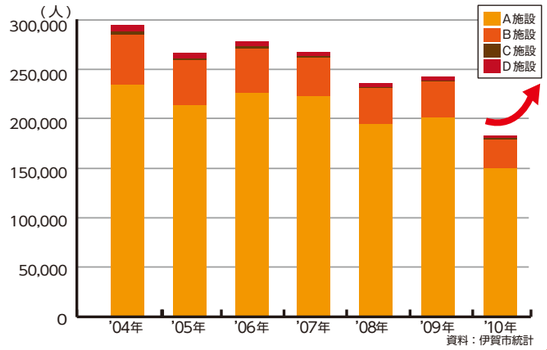
現状

観光施設への来場者数が減っています。

課題

積極的な観光情報の発信を通してリピーターや若者を確保するとともに、中心市街地へ観光客を誘引する仕掛けづくりや、市内を周遊できる仕組みづくりが求められています。

観光施設来場者数



資料：伊賀市統計

これらの課題を乗り越えるために活用できる地域資源

豊かな歴史・文化 …「忍者」「芭蕉」「城下町」「食文化」
恵まれた自然環境 …「里山」「温泉」「農業」
地理的特性 ……「近畿と中部の結節点」
産業・研究 ……「伝統産業」「6次産業」「ものづくり産業」「三重大学研究拠点」

課題・目的達成のための 2030年 未来への提案

- 次世代の背中を押しています
- 近道地図より遠回り地図がある街
- 今さらって気もするがこれからって気もする
- 地産地消から地産地生へ
- 伊賀にいながら世界デビュー

このような現状に対応するため、地域にある資源を活かしながら、目的を持ってさまざまな課題に取り組んでいく必要があります。

「強靭で多様な地域経済の創造」の実現を目指します。

上野商工会議所では、会員企業が夢と希望を持って経営でき、市民が豊かな暮らしを実感できる地域づくりを目指します。
日本だけでなく世界を視野に入れ、豊かな自然や多彩な文化、地域資源の強みを活かし、競争力のある持続的な発展に取り組むとともに、農商工連携や異なる業種間の連携、産業と教育、研究機関との連携などのつながりによる新たな価値を創造し、地域の振興に向けた取り組みをすすめます。
地理的な特性や地域資源を活かし、地元企業が成長できる環境をつくるために、下記の 5 点を商工会議所の方向とし、さまざまな取り組みを行っていきます。
そして、取り組みを通して、商工会議所組織・財政・運営の強化と、商工会議所のプレゼンス強化につなげていきます。

近道地図より遠回り地図がある街

歴史と文化、伝統ある秘蔵の国の感動をあたえる都市づくりを目指して

将来像

伝統的なまちなみ、忍者、芭蕉等、城下町が育んだ伊賀ならではの魅力を活かした中心市街地の賑わいづくりを進めるとともに、おもてなしの心で観光客の増加を図ります。
さらに、会員企業をはじめ、伊賀全体で観光業を盛り上げていく気運を醸成し、伊賀にしかない観光を創りだすことで、日本のみならず世界の観光客から愛されるまちを目指します。

【取り組みの方向性】

(1) 伊賀独自のオンリーワンの魅力を強化
(2) まちなか観光の強化　歴史あるまちなみをめぐり、観光スポットをつなぎ、訪れる人に喜んでもらえる仕組みづくり
(3) 多様な手段で伊賀上野の魅力を情報発信

【具体的な取り組み】

- 強化したい伊賀の魅力として、「伝統産業」「文化」「食の魅力」「忍者の魅力」「小京都の街並み・城下町」「芭蕉」の魅力を一層深化させます。
- 伊賀の魅力を分かりやすく伝えるため、おもてなしの心の涵養に努めます。
- プロモーションチームの組織化・育成化を進め、年中および毎月のイベント開催や、大々的なイベントの誘致を図ります。
- 周辺地区とのタイアップで、ニューツーリズムに代表される、癒しの観光・体験型観光等、観光産業の拡大充実を図ります。
- 観光客のニーズを把握し、観光情報を発信できる観光体制を促進し、まちなかの賑わいを高め、回遊性の向上を図ります。
- 独自の歴史・文化があり、豊かな自然や特産品を持つ「秘蔵の国」と言われる伊賀を実感してもらえる仕組みをつくります。
- 文化施設の充実、活発な文化活動の充実に取り組みます。
- 伊賀にゆかりある映画・文学・芸術・キャラクター等を絡めた、伊賀の PR を促進します。

今さらって気もするがこれからって気もする

女性が笑顔のくらし、まちづくりを目指して

将来像

人口減少という現実をとらえ、より安心・安全に健康で暮らしやすい生活ができるよう、地域の商工業振興という観点から行政と連携し、地域に根ざしたまちづくりを進めます。
また、女性の社会的進出をさらに促し、女性の視点を活かした取り組みを行い、笑顔があふれるまちの実現を目指します。

【取り組みの方向性】

(1) 地域の絆をつくるコミュニティの創造
(2) 暮らしやすい環境づくり、中心市街地の最適化
(3) 子育て支援の充実

【具体的な取り組み】

- 市民活動・コミュニティ活動・ボランティア活動等、NPO との連携支援をすすめます。
- 女性による商店街づくりなど、さまざまな団体の話し合い、情報の集積で活性化を図り、コミュニティビジネスの創出と暮らしの満足度アップに努めます。
- 女性の視点を活かし、公共施設の充実、災害・防災に強いまちづくり、交通基盤整備のデザイン等、共同参画に努めます。
- 買い物が便利なところへお店を集め、中心市街地の再生・最適化を図ります。
- 子育て・育児支援の充実や、女性が安心して暮らせるまちなかデザインへの参画を促し、人と人を繋げることで新たな付加価値を創出します。
- 医療体制の整備、安心安全な地域づくりに協力していきます。

次世代の背中を押しています

人材伊賀を目指して

将来像

常に新しいことにチャレンジできるシステムづくりや、経営者・若者・起業家への支援を通じ、技術力やリーダーシップ、マネジメント力を兼ね備えた、伊賀の新たな担い手となる人材を育てます。企業や個人が、能力を充分に発揮できる環境を整備することで、人が集まり、活力あふれるまちの実現を目指します。

【取り組みの方向性】

(1) 全国、世界に通じるひとづくり
(2) 経営者・若者・起業家が参画できる環境づくり

【具体的な取り組み】

- 小中高校生の、社会人・就業人への、心がまえ育成教育に協力していきます。
- 先代の壁を乗り越える後継者の人材育成システムづくりや、経営者の資質向上を図るため、起業セミナーや、まちづくりをしている団体を対象としたレベルアップセミナーを開設します。
- 人材の連携、ネットワーク、つながり、新しい交流のシステムづくり、地域間交流、ソーシャルビジネスを促進します。
- 三重大学と市民・NPO・団体との連携により、多種多様な新しい学びの場づくりを進めます。新たなつながりをつくるとともに、講座の開設や共同研究等のオープンカレッジを開設し、地域資質の向上や、産学官連携を図ります。

地産地消から地産地生へ

商工 × 農の地の利を活かした新たな産業都市を目指して

将来像

商工業と農業の技術やノウハウを活かし、地域経済の活性化に貢献する取り組みを進めます。農商工が連携し、商品価値の向上や新しいサービスを創りだすことで、生産性の向上や新規事業、販路拡大をすすめます。
また、ものづくりを中心にさまざまな分野の連携を図り、活力ある多様な産業の形成を目指します。

【取り組みの方向性】

(1) 伝統産業の育成強化と新たな産業づくり、地域資源の認知度の向上
(2) 農商工連携による、農産物加工食品の開発等ビジネスモデルづくり
(3) 地域経済力や雇用拡大のための企業誘致、受け入れ体制の整備
(4) 交通基盤の整備

【具体的な取り組み】

- 「仲介する」「PR する」場を定期的に開催し、伝統的地場産業と企業の情報交流や、事業提携のきっかけとなるような出会いの場を創出します。
- JA や大学との連携を進め、農業関連従事者とともに、新たな組織づくりをすすめます。また、農商工業の連携強化による地域全体の付加価値の向上を図ります。
- 国内、国外の産業展、見本市への参画など、情報発信・収集・他地域とのつながりを強化し、また他業種との複合のビジネスブランディングを図ります。
- 地元産物を利用した商品開発や、地元消費の促進のため、アンテナショップの開設や、販売の多チャンネル化を図ります。
- 更なる企業誘致に努め、内陸工業地帯としてのより一層の発展を図ります。
- 大阪・名古屋を結ぶ拠点づくり、ネットワークづくり、アクセス性の大幅改善として、新名神、リニア、伊賀鉄道、JR 関西本線複線電化等交通アクセスの整備に取り組むとともに、インフラ整備に取り組みます。

伊賀にいながら世界デビュー

地域資源の世界市場進出を目指して

将来像

商品開発やマーケティングプロデュースを推進し、伊賀の特色ある産品や技術の魅力・価値をさらに高め、世界に通用する評価の確立を目指します。伊賀の認知度やイメージを向上させるとともに、全国・世界に発信します。

【取り組みの方向性】

(1) 観光・経済面で海外都市との交流
(2) 新庁舎を拠点とした世界発信
(3) ベンチャー企業の創出
(4) ITを活用した事業展開、情報化の促進
(5) 全国・世界市場への進出支援

【具体的な取り組み】

- 英語でのコミュニケーション力強化に取り組みます。
- 産学官で連携し、マーケティング研究の促進を図ります。
- 新規事業への新しいサポート体制を整備します。
- インターネットを活用し、伊賀を日本全国および世界に向けた情報発信を進めるとともに、情報化へのスキルアップや支援を行います。
- 見本市や商談市参画へのプロデュースを促進します。
- 芸術性の高い地域資源（芭蕉、伊賀焼、伊賀くみひもなど）は 芸術の視点を活かした情報発信を行います。
- 経営支援と連携し、国際化に取り組む企業への支援を強化します。

上野商工会議所

〒518-0873　三重県伊賀市上野丸之内 500 番地
TEL (0595) 21-0527　FAX (0595)24-3857
URL　http://www.iga-ueno.or.jp/
E-mail　info@iga-ueno.or.jp